

# 京都大会 和文化教育学会 第二十二回 文化教育全国大会

千玄室大宗匠染筆

和

玄



## 『グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信—』

### 【1/24（土）】研究・実践発表 基調講演 シンポジウム

受付	《 9:00～ }	光風館 (こうふうかん) 2階ロビー
開会行事	《 9:30～ 9:40 》	大会実行委員長挨拶 学会会長挨拶 光風館ホール
和-平和へのメッセージ	《 9:40～10:00 》	千玄室宗匠 追悼 光風館ホール
研究・実践発表	《 10:10～11:50 》	第1分科会 251 教室 第2分科会 252 教室 第3分科会 253 教室 第4分科会 353 教室 第5分科会 354 教室 第6分科会 352 教室
研究・実践発表	聞光館 (もんこうかん)	聞光館 1階 茶室
呈茶（茶道、煎茶道）	《 11:50～12:50 》	聞光館 (もんこうかん) 大会議室
理事會・昼食	《 11:50～12:50 》	光風館 (こうふうかん) ホール
総会	《 12:50～13:10 》	グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信— 池坊 専好（池坊次期家元）
基調講演	《 13:20～14:30 》	グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信— 司会：谷本 寛文（京都光華女子大学/副学長） 岡崎 均（大阪体育大学/和文化教育学会理事長）
シンポジウム	《 14:40～16:50 》	シンポジウム講演者：池坊 専好（池坊次期家元） シンポジスト：河村 晴久（能楽師 觀世流 シテ方） ランディー・チャネル（裏千家教授） 北村 昌江（学会員/ランゲージ・アーツ研究&アカデミー）
閉会行事	《 16:50～17:00 》	コメンテーター：梶田 叢一（前和文化教育学会会長/兵庫教育大学名誉教授） 中村 哲（和文化教育学会会長/兵庫教育大学名誉教授） 大会事務局長挨拶 学会理事長挨拶 光風館ホール 次期大会開催代表挨拶

### 【1/25（日）】巡査：大徳寺東門（現地集合）・山門（金毛閣）、聚光院の参拝

・裏千家：重要文化財の茶室などの拝観と一般のお茶をいただきます。

主 催 第22回和文化教育全国大会（京都大会）実行委員会 和文化教育学会

後 援 文部科学省 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都新聞 KBS京都

【和文化教育学会事務局】〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38 京都光華女子大学 谷本 寛文

# 令和7(2025)年度 第22回和文化教育全国大会（京都大会）要項

## 1. 開催趣旨

現代の日本文化は、伝統性と革新性の融合を特徴とし、グローバル化社会において独自の価値を発揮している。日本文化がグローバル化の中で大きな魅力を持ち得る一方、教育という視点からは様々な課題を抱えている状況にある。例えば、「自國文化を理解し、異文化と比較しつつ、多言語で発信できる能力」等が挙げられる。日本文化をグローバルに発信する教育実践は、次世代に必要な創造的・協働的資質を育成する基盤ともなり得るものであり、日本文化の魅力を再考しつつ、教育課題解決の糸口を見いだすものとする。

## 2. テーマ

グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信—

## 3. 主催・後援

主 催 第22回和文化教育全国大会（京都大会）実行委員会 和文化教育学会

後 援 文部科学省 京都府教育委員会 京都市教育委員会 京都市教育委員会  
京都新聞 KBS京都

## 4. 開催地及び会場

京都光華女子大学

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38



## 5. 日 程 【1月24日（土）】 研究・実践発表 基調講演 シンポジウム

	9:00	9:30 -9:40	9:40 -10:00	10:10 -11:50	11:50 -12:50	12:50 -13:10	13:20 -14:30	14:40 -16:50	16:50 -17:00	
受付	開会行事  光風館2階ロビー	開会アトラクション  光風館ホール	千玄室宗匠追悼  光風館ホール	研究・実践発表  第1分科会 - 第6分科会  聞光館	昼食呈茶  理事会  聞光館 大会議室  煎茶道部による接待  聞光館1階	総会  光風館ホール	文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合  光風館ホール	文化価値創造を意図する文化資産と教育の融合  光風館ホール	シンポジウム  光風館ホール	閉会行事  光風館ホール

※グローバル文化シンボル「鯉のぼり」プロジェクトコーナー 光風館2階ロビー 受付付近

【1月25日（日）】 巡査：

## 6. 内容

### (1) 研究・実践発表《10:10~11:50》「発表15分 質疑応答5分」

#### 第1分科会 司会 :

- ①伝承的わらべうた遊びにみる幼児の創造的表現の展開—母子の相互作用に着目して—廣畠 まゆ美（兵庫教育大学大学院連合学校教育研究科）
- ②神話は宝箱—神話から受け継がれるもの 江崎 圭伊子（川崎市立小杉小学校）
- ③公立小学校における「和太鼓伝承」の実践からみえるもの 山崎敏哉（世田谷区立山崎小学校）
- ④子どもが和太鼓に親しむために必要な指導者のスキル—幼児・小学校教育を学ぶ学生の実践を通して— 土師 範子（中国学園大学子ども学部子ども学科）
- ⑤『浮世絵版画』教材による美術館での体験型プログラムの実践とその可能性 犬童 昭久（九州ルーテル学院大学）

#### 第2分科会 司会 :

- ①スーパー戦隊を題材とした和文化教育の実践 出村 雅実（わせがく高等学校）
- ②高等学校 総合的な学習における和文化教育の実践例 三枝 修（元兵庫県立姫路南高等学校）
- ③天皇と日本文化—教材開発の視点から一 森 一郎（元神戸市立高等学校教諭）
- ④日本型ウェルビーイングを視点としたプロジェクト型学習 及川 直人（八街市立朝陽小学校/千葉大学委託研究生）
- ⑤日本型ウェルビーイングと和文化教育 高橋 史朗（高橋史朗塾）

#### 第3分科会 司会 :

- ①和文化を生かした地域教材の活用—祇園祭を題材に一 長瀬 拓也（同志社小学校）
- ②校庭の樹木を活用した和文化教育 向井 隆盛（行田市立南河原小学校）
- ③地域の文化資本に着目した小学校社会科授業開発研究 末永琢也（高知大学）
- ④小学校社会科教科書における伝統文化の意味づけの分析 佐藤 正寿（東北学院大学）
- ⑤小学校社会科地域学習と「文化価値形成」を図る和文化教育—「地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。」 小林 隆（佛教大学）

#### 第4分科会 司会 :

- ①地域の郷土芸能について 夏目 佳子（東海学園大学）
- ②地域活性生涯学習のための伝統文化活用 沖 けい（西宮能楽研究会）/関屋 俊彦（関大名誉教授）
- ③紙から空間へ、そして身体へ、書とテクノロジーの融合—2025大阪・関西万博公開デモについて— 福井淳哉（帝京大学）/河島 由弥（川村学園女子大学）
- ④中学校道徳教科書における日本の伝統と文化～使用されている題材をもとに～ 吉田 雅子（大阪体育大学）
- ⑤子ども達と地域の歴史的な遺産継承に「できること」を思索する場づくり—江差町での日本遺産普及に向けたプロモーションフラッグシップ制作事業の取り組みを通して— 橋本 忠和（園田学園大学）

#### 第5分科会 司会 :

- ①和文化教育のジレンマの再考—武道におけるジェンダー課題に注目して— 竹繁 諒真（武庫川女子大学 社会情報学部）
- ②和文化教育の課題と展望 上田 真由/松岡 靖（京都女子大学）
- ③「家紋」をテーマとした教科横断的授業の実践 山田 凜/表 真美（京都女子大学）
- ④大学における伝統工芸を生かした社会貢献—広島大学の実例から一 伊藤 奈保子（広島大学人間社会科学研究）
- ⑤グローバル文化シンボルとしての「鯉のぼり」プロジェクトの活動と意義—仏蘭西のクレマンソー館と独逸のマールバッハ小学校での「鯉のぼり」活動を事例に一 中村 哲（兵庫教育大学名誉教授）

#### 第6分科会 司会 :

- ①学校教育における茶道の位置づけに関する一考察—各教科の現状とその課題— 奥中 淳未（関西学院大学 言語コミュニケーション文化研究科）
- ②学校茶道実技に花月の式を 小室 順子（平安女学院大学伝統文化研究センター）
- ③奥田正造の茶道による学校教育 杉谷 朱美（平安女学院大学伝統文化研究センター）
- ④「社中」という教育共同体—茶道における修養と思想の構造— 関根 和夫（立命館大学先端総合学術研究科）
- ⑤アメリカにおける華道の普及と課題 藏重 伸（華道家元池坊嘱託講師）

### (2) 基調講演《13:20~14:30》

グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信—  
池坊 専好（池坊次期家元）

### (3) シンポジウム《14:40~16:50》

グローバル化する日本文化の魅力と教育課題—京都からの発信—  
司 会：谷本 寛文（京都光華女子大学/副学長）  
岡崎 均（大阪体育大学/和文化教育学会理事長）  
シンポジウム講演者：池坊 専好（池坊次期家元）  
シンポジスト：河村 晴久（能楽師 観世流 シテ方）  
ランディー・チャネル（裏千家教授）  
北村 昌江（学会員/ランゲージ・アーツ研究&アカデミー）  
コメンテーター：梶田 敘一（前和文化教育学会会長/兵庫教育大学名誉教授）  
中村 哲（和文化教育学会会長/兵庫教育大学名誉教授）

QR コード

7. 大会 WEB サイト 「第 22 回和文化教育全国大会（京都大会）の「第 22 回大会サイト  
(<https://>) を開設します。本サイトの URL と QR コード  
から大会内容の閲覧と大会参加の申込みが可能です。

8. 参加申込み方法 大会参加希望の方は、上記 WEB サイトからの申込みをお願いします。  
申込みと同時に下記項目 9・10 をご確認いただき、参加費の送金をお願い致します。  
なお、入金後の返金はできませんので、ご了承ください。

9. 参 加 費 会員・会員外：3,000 円（事前申込みの場合 2,500 円）

一般参加者：1,000 円

学部学生：無料

※プロジェクト支援：1 口 500 円（口数に応じて鯉のぼりを進呈します）

<https://www.>

10. 参加費等の送金先 大会申込みとは別に、参加費を以下の銀行講座に振込をお願いします。

《銀行振込口座》

(参加費の振込は、必ず個人名でお願いします。)

なお、学会費は別の郵便振込口座への送金となります。

11. 大会連絡先 第 22 回和文化教育全国大会（京都大会）実行委員会事務局

〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町 38 京都光華女子大学 谷本 寛文

メールアドレス：[h-tanimoto@mail.koka.ac.jp](mailto:h-tanimoto@mail.koka.ac.jp)

「鯉のぼり」等の写真